

# 宮崎市新庁舎建設基本構想 検討資料

## 市民アンケート結果

(R4.11.11時点)

---

## 目次

<b>1. 市民アンケート調査の概要</b>	<b>2</b>
<b>2. 年齢・居住地について</b>	<b>4</b>
<b>3. 市役所への訪問頻度・手段・目的・前後の行動について</b>	<b>8</b>
<b>4. 市役所を『宮崎中央公園の一部』に移転した場合について</b>	<b>18</b>
<b>5. 住民票の発行など行政手続きのオンライン化について</b>	<b>29</b>
<b>6. 新庁舎建設の重要な視点について</b>	<b>33</b>
<b>7. まとめ</b>	<b>37</b>

---

## 1. 市民アンケート調査の概要

---

# 1.市民アンケート調査の概要

- ・ 市民アンケート調査の実施概要は以下のとおり。
- ・ 有効回答数は1,191（有効回答率は39.7%）であった。

## 市民アンケート調査の実施概要

調査実施期間	2022.5.17 ~ 2022.6.8（23日間）
調査方法	インターネット又は郵送
母集団	宮崎市に在住している18歳以上
対象者	3,000人
サンプリング方法	無作為抽出
有効回答数・率	1,191（39.7%）
回答方法	郵送 : 867（72.8%） インターネット : 324（27.2%）

アンケート調査結果の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、  
個々の値の集計値は、表記されている数値を単純に合計した値どおりにならない場合がある。

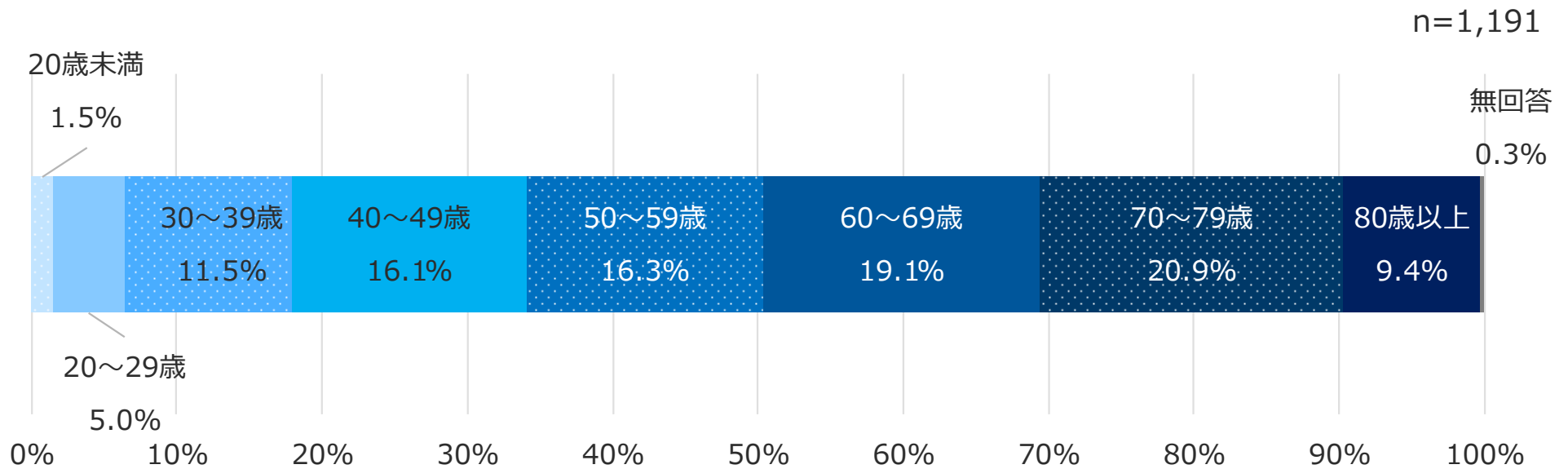
## 2. 年齢・居住地について

---

## 2-1. 年齢

- 回答者の年齢については、70代、60代、50代、40代、30代の順に多い。

### 問1 あなたの年齢を教えてください。(単一回答)

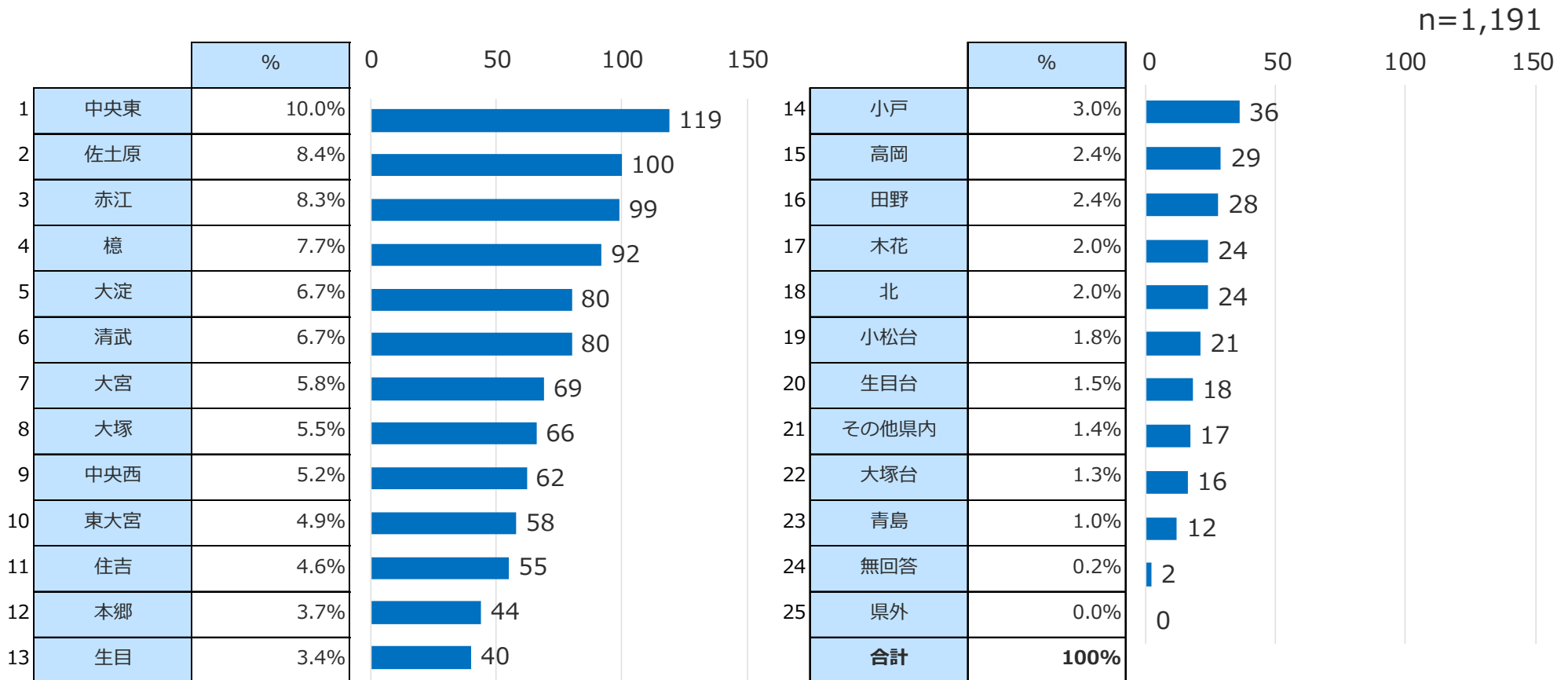


	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	無回答	合計
人数	18	59	137	192	194	227	249	112	3	1,191
%	1.5%	5.0%	11.5%	16.1%	16.3%	19.1%	20.9%	9.4%	0.3%	100.0%

## 2-2. 居住地

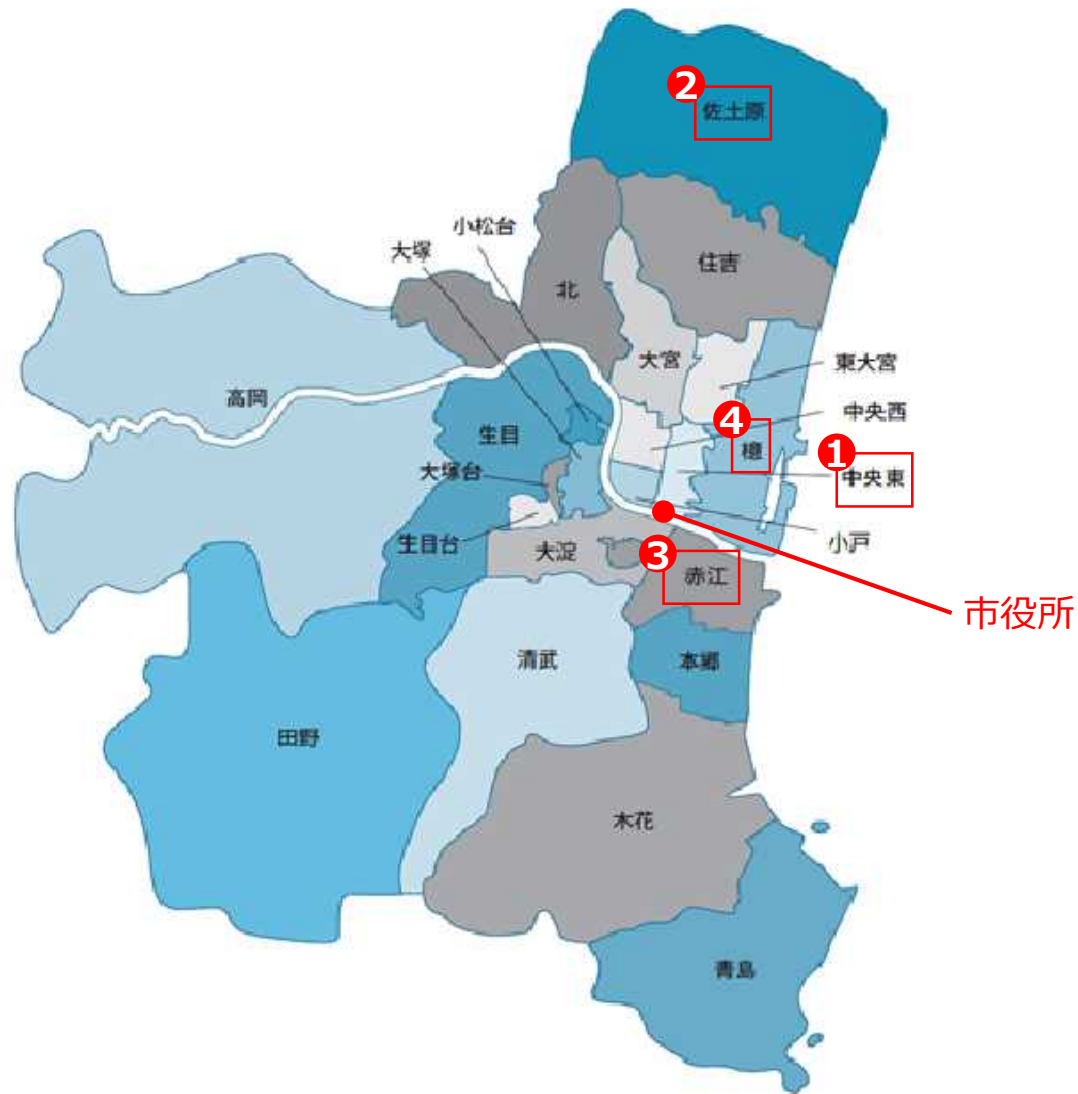
- 回答者の居住地については、中央東が10.0%で最多。次いで、佐土原（8.4%）、赤江（8.3%）、櫛（7.7%）の順に多い。

### 問2 お住まいの地域を教えてください。（単一回答）



## (参考) 宮崎市の地域図

- 赤枠で囲った地域 (= 地域自治区) が回答者数の上位 4 位の地域。



出所 : [https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/fs/6/9/5/8/4/2/\\_/695842.pdf](https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/fs/6/9/5/8/4/2/_/695842.pdf) を基に日本総研作成



### 3. 市役所への訪問頻度・手段・目的・前後の行動について

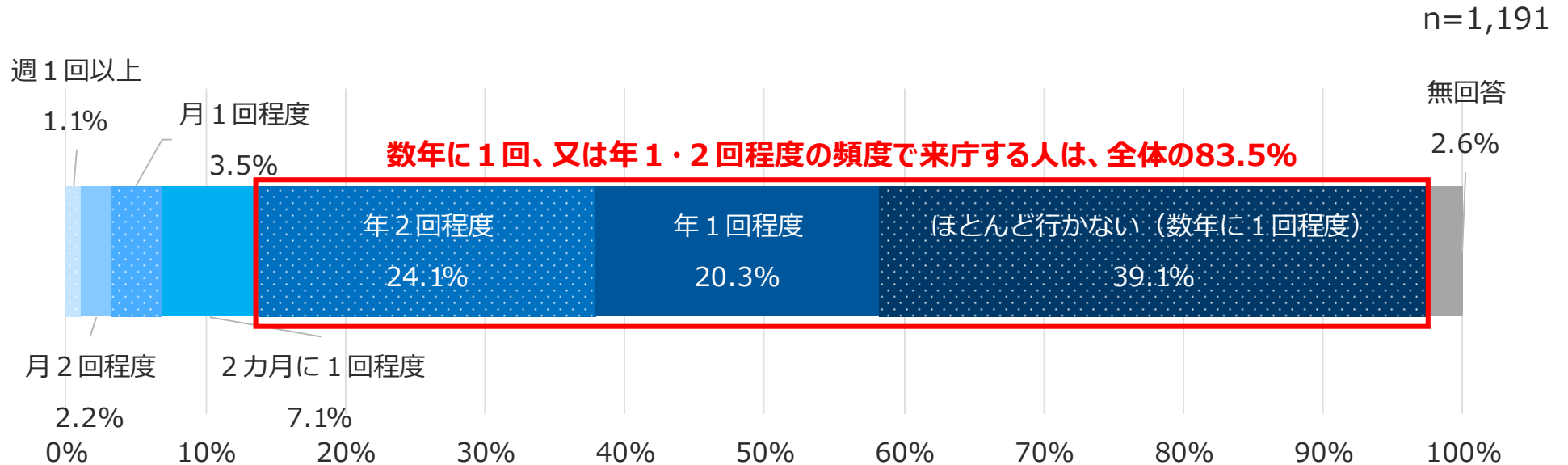
---

### 3-1. 来庁頻度

- 来庁頻度については、「ほとんど行かない（数年に1回程度）」が39.1%で最多。
- 次いで、「年2回程度」（24.1%）、「年1回程度」（20.3%）の順に多い。
- 数年に1回、又は年1・2回程度の頻度で来庁する人は、全体の83.5%である。
- 高頻度に利用する人（年6回以上の来庁）は、全体の13.9%にとどまった。

#### 問3

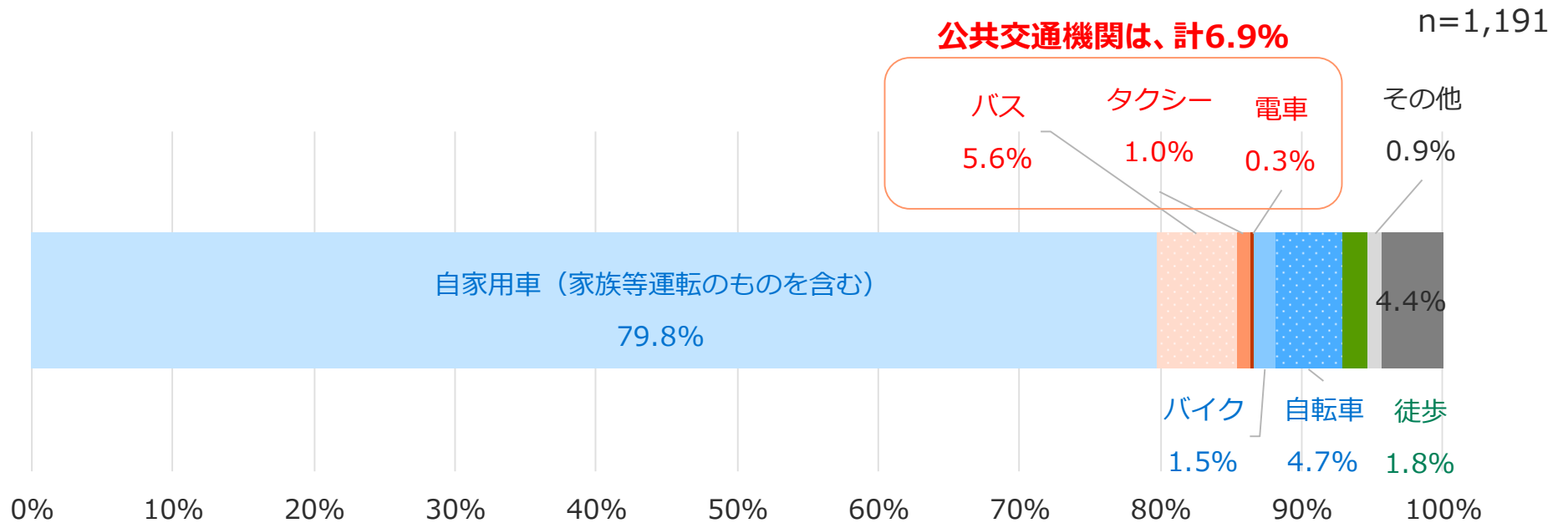
直近1年間で、どれくらいの頻度で市役所（本庁舎、第二庁舎、第三庁舎、第四庁舎 ※総合支所や地域センター、事務所は除く。）を訪問していますか。（単一回答）



## 3-2. 交通手段

- 市役所までの交通手段については、自家用車が79.8%と最多。
- バス、タクシー、電車という公共交通機関は、計6.9%である。
- 駐輪場が必要となるバイク、自転車は、計6.2%である。

### 問4 市役所を訪問する際の交通手段でよく利用するものは何ですか。（単一回答）



青色系：駐車場、駐輪場を要する手段

赤色系：公共交通機関

緑色：徒歩

灰色系：その他、無回答

### 3-3. 駐車場の収容台数

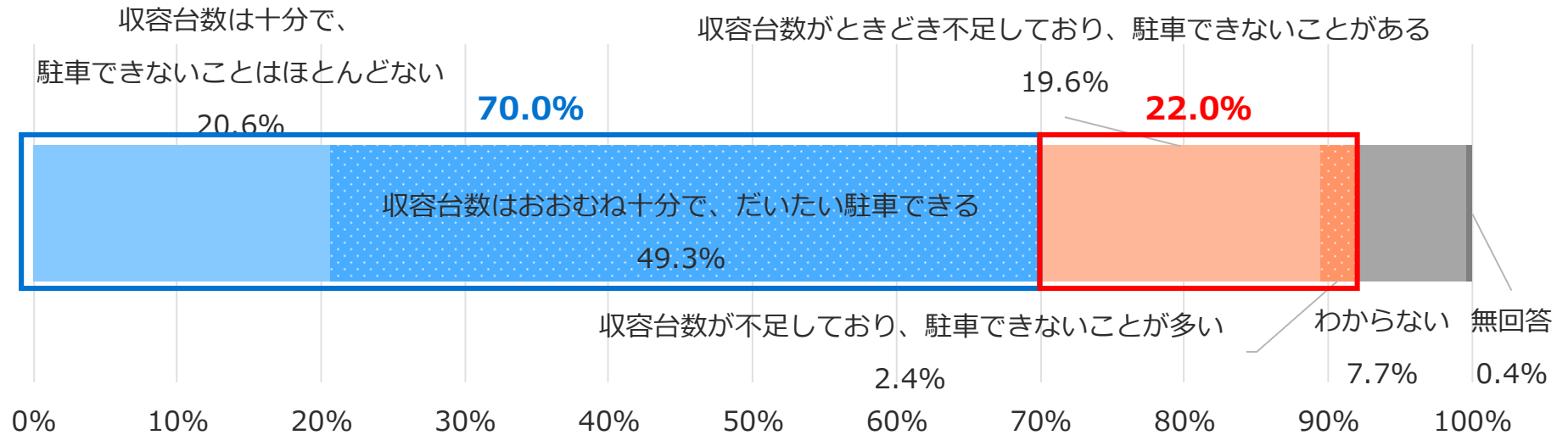
- ・ 駐車場の収容台数については、「おおむね十分で、だいたい駐車できる」が49.3%と最多。
- ・ 「十分」又は「おおむね十分」と回答した人は70.0%であり、駐車場の台数は、基本的に十分あると考えられる。
- ・ 他方で、「ときどき不足」又は「不足」と回答した人は22.0%であり、時間帯によっては不足していると考えられる。

#### 問5

問4で「自家用車」と回答された方にお聞きます。

市役所の駐車場の収容台数について、あてはまるものを1つ選んでください。（単一回答）

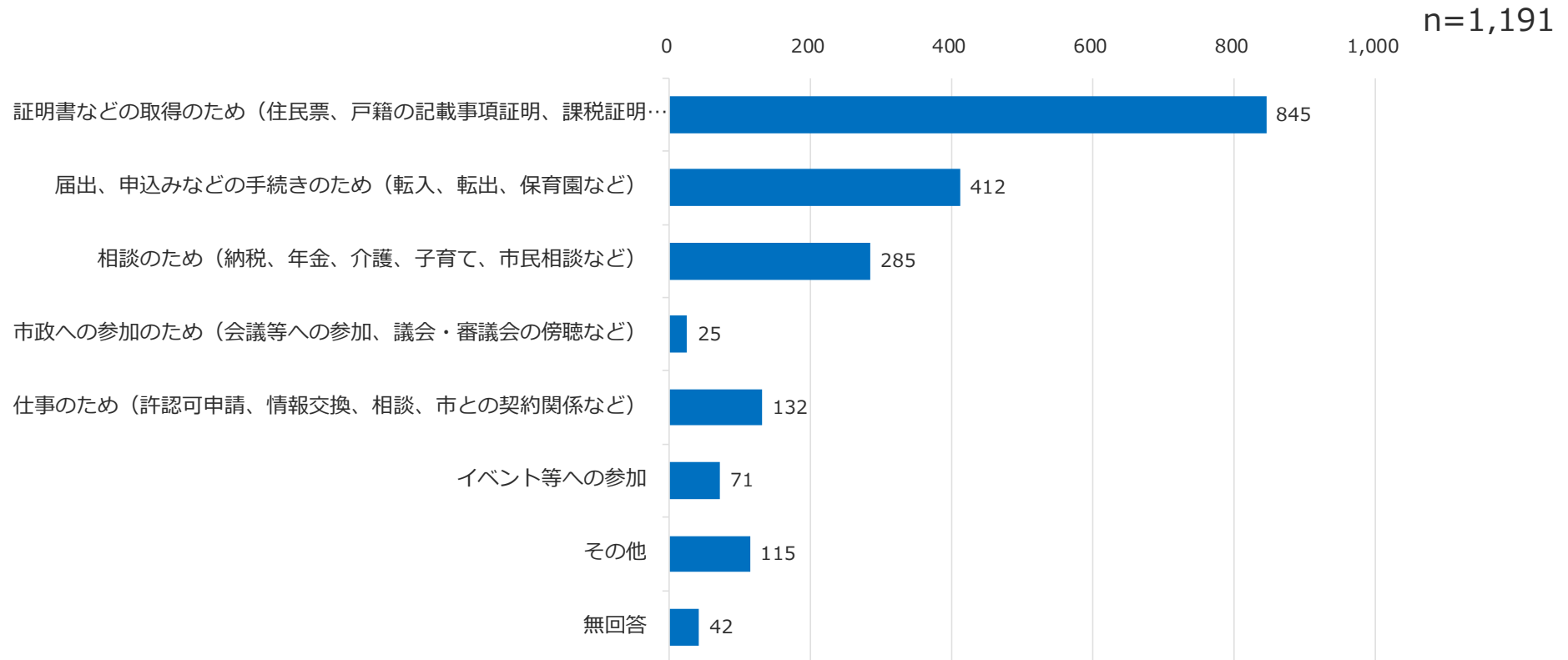
n=950



### 3-4. 来庁目的（1/3）結果の概要

- 来庁目的については、証明書などの取得のために来庁する人が845人と最多。次いで、手続き（412人）、相談（285人）の順に多い。
- 証明書等を自宅郵送やコンビニ等で取得できるようにしたり、手続き・相談をオンライン化したりして、来庁しなくても便利にサービスを受けられるような仕組みを導入・推進すれば、来庁人数は大幅に減ると想定される。

#### 問6 市役所を訪問する目的を教えてください。（最大3つ）



### 3-4. 来庁目的（2/3） その他の意見

- ・ 来庁目的についての「その他」の意見は、次のとおり整理・分類できる。
- ・ 選挙関連が計23件。
- ・ 書類・証明書等の取得、手続きが多く含まれている。

分類	回答内容	件数
選挙関連	期日前投票	17
	選挙	6
書類・証明書等の提出・受取、手続き関連	障害者手帳関連（高速料金割引、ガソリン券）の手続き	1
	マイナンバーカードの個人情報の更新	1
	保険証の切り替え	1
	マイナンバーカード作成のため	1
	障害手帳の申請	1
	医療券の発行、自立支援の更新、障害手帳の更新等	1
	納税申告	1
	一人親の諸々の申請	1
	子どもの手続き関連	1
	障害サービスの手続き	1
	家族に障害者がいるので、障害者手帳の更新やオムツ給付の手続きなど	1
	生活保護を受給していますので書類の提出など	1
	提出書類きりかえの為	1
	国勢調査の説明会や不足書類の受け取り等	1

分類	回答内容	件数
その他の提出・受け取り	ボランティア活動の書類提出	1
	ボランティアごみ回収袋を頂く	1
	療育手帳、タクシー券更新のため	1
	タクシー券を取得	1
	両膝を悪くして困難な為数年前にハリ、オキユウー24枚もらいに行っただけ	1
	ゴミ収集の表をもらうため	
相談	市民住宅管理会社勤務で訪問相談	1
	一度、公園の毛虫についてご相談に伺いました。	1
情報収集	近くを通ったら必ず寄る。情報収集（ポスター・チラシ・公報誌等）	1
	配布物を見るため	1
窓口以外の施設利用	市民プラザ利用	2
	郵便局	1
	オルブライトホール<会議室>での月一回の句会	1
代理・同伴	高齢の母をつれて。母の用事	1
支所等への訪問	今は佐土原支所に行く事が多い	1
	佐土原総合支所に生保関係の書類を出しに行く	1
	殆んど北地域センターですみます。	1
その他・詳細不明	障害者枠	1
	労金	2
	国保	1
	安否かくにん	1
	園の行事	1

### 3-4. 来庁目的（3/3）年代とのクロス

- 市役所への訪問目的について、年代別で整理すると、下表のとおり。
- 20～29歳、30～39歳、40～49歳は、手続きのために訪問している傾向にある。
- 50～59歳、70～79歳、80歳以上は、相談のために訪問している傾向にある。

n=1,148

	全体		20歳未満		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
	1,148	—	18	1.6%	58	5.1%	137	11.9%	189	16.5%	190	16.6%	224	19.5%	230	20.0%	102	8.9%
証明書などの取得のため (住民票、戸籍の記載事項証明、課税証明など)	845	73.6%	14	77.8%	46	79.3%	103	75.2%	141	74.6%	134	70.5%	167	74.6%	168	73.0%	72	70.6%
届出、申込みなどの手続きのため (転入、転出、保育園など)	412	35.9%	5	27.8%	30	51.7%	82	59.9%	91	48.1%	60	31.6%	69	30.8%	54	23.5%	21	20.6%
相談のため (納税、年金、介護、子育て、市民相談など)	285	24.8%	2	11.1%	8	13.8%	31	22.6%	31	16.4%	32	16.8%	64	28.6%	78	33.9%	39	38.2%
市政への参加のため (会議等への参加、議会・審議会の傍聴など)	25	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%	5	2.6%	6	2.7%	7	3.0%	5	4.9%
仕事のため (許認可申請、情報交換、相談、市との契約関係など)	132	11.5%	2	11.1%	6	10.3%	19	13.9%	37	19.6%	28	14.7%	23	10.3%	13	5.7%	4	3.9%
イベント等への参加	70	6.1%	0	0.0%	4	6.9%	6	4.4%	12	6.3%	13	6.8%	18	8.0%	11	4.8%	6	5.9%
その他	115	10.0%	2	11.1%	3	5.2%	15	10.9%	24	12.7%	19	10.0%	14	6.3%	27	11.7%	11	10.8%

- 全体 (%) との差が +10pt 以上
- 全体 (%) との差が +5pt 以上
- 全体 (%) との差が -10pt 以上
- 全体 (%) との差が -5pt 以上

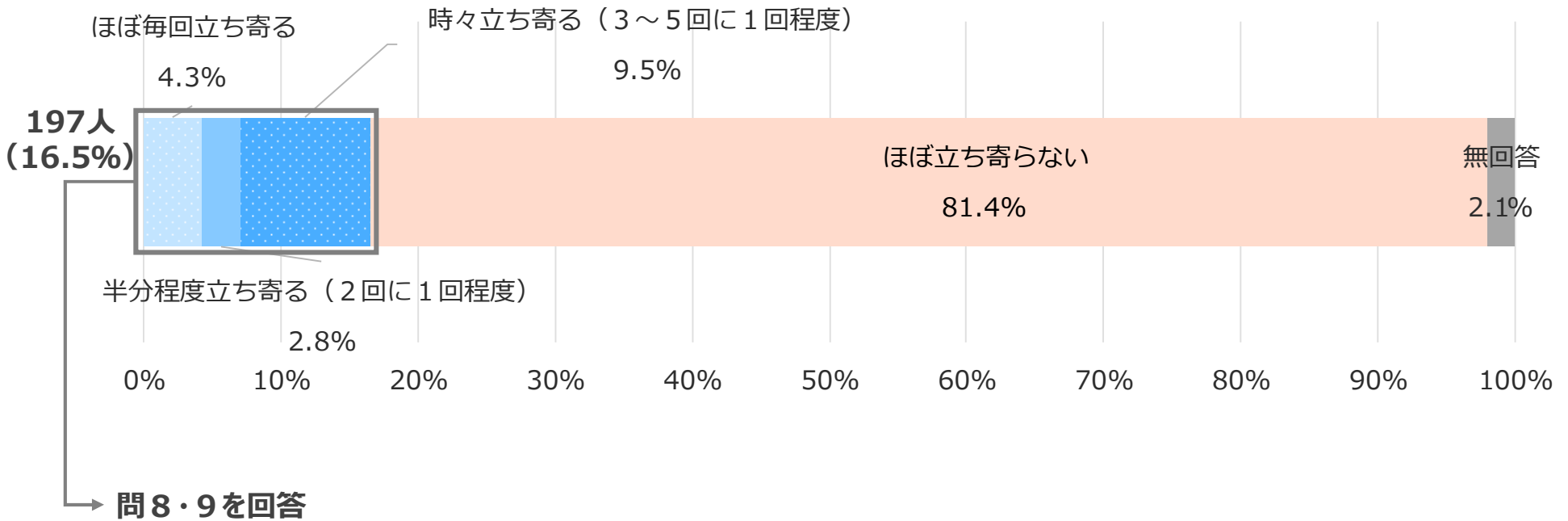
### 3-5. 商業施設等への立ち寄り頻度

- 市役所付近の商業施設等への立ち寄りについては、「ほぼ立ち寄らない」が81.4%と最多。
- ほぼ毎回、半分程度、又は時々立ち寄る人は、計16.5%である。

問7

市役所を訪問する際に、市役所訪問前後に、市役所付近の商業施設や飲食店などへ立ち寄ることはありますか。（単一回答）

n=1,191

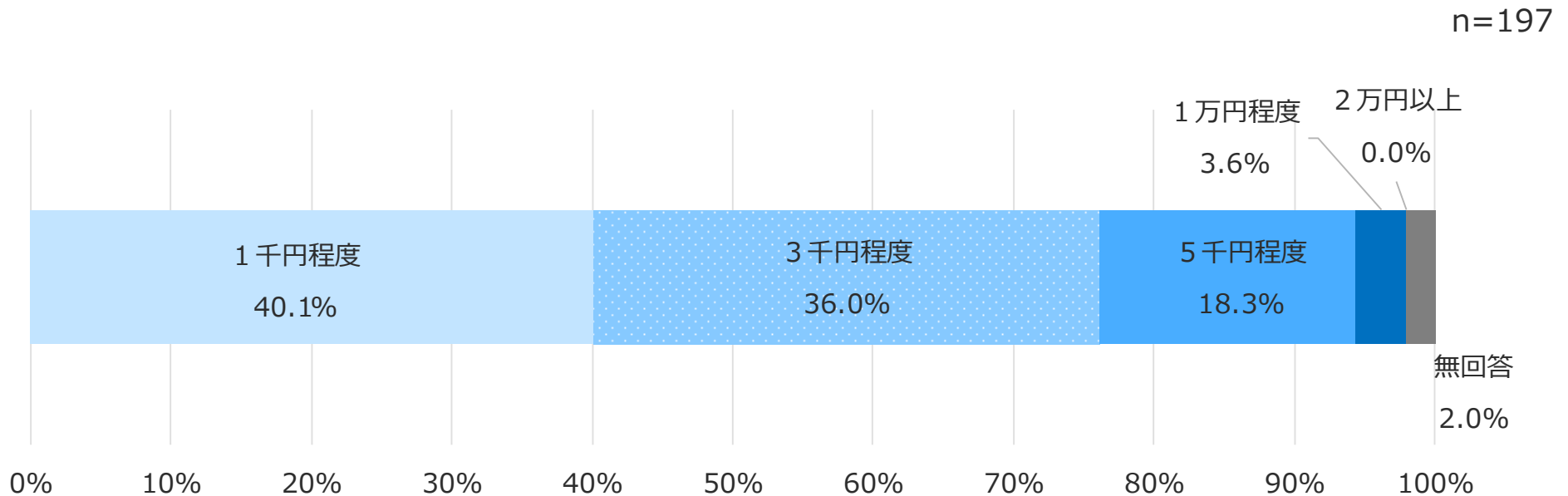




### 3-6. 商業施設等への立ち寄り時における消費金額

- 市役所付近の商業施設等への立ち寄り時における消費金額については、「1千円程度」が40.1%と最多。
- 次いで、「3千円程度」(36.0%)、「5千円程度」(18.3%)の順に多く、相対的に低い。
- 平均消費金額(※)は、2,756円。
- 来庁頻度について、「ほとんど行かない(数年に1回程度)」が39.1%で最多であり、商業施設等への立ち寄りについて、「ほぼ立ち寄らない」が81.4%が最多であることと合わせて勘案すると、付近の商業施設に対する経済的な効果は低いと想定される。

**問8** 市役所を訪問する際に、市役所訪問前後に、市役所付近の商業施設や飲食店などへ立ち寄る際の1回あたりの消費金額の目安を教えてください。(単一回答)



※ 1千円程度は1,000円、3千円程度は3,000円、5千円程度は5,000円、1万円程度は10,000円、2万円以上は20,000円、無回答は0円とみなして算出。

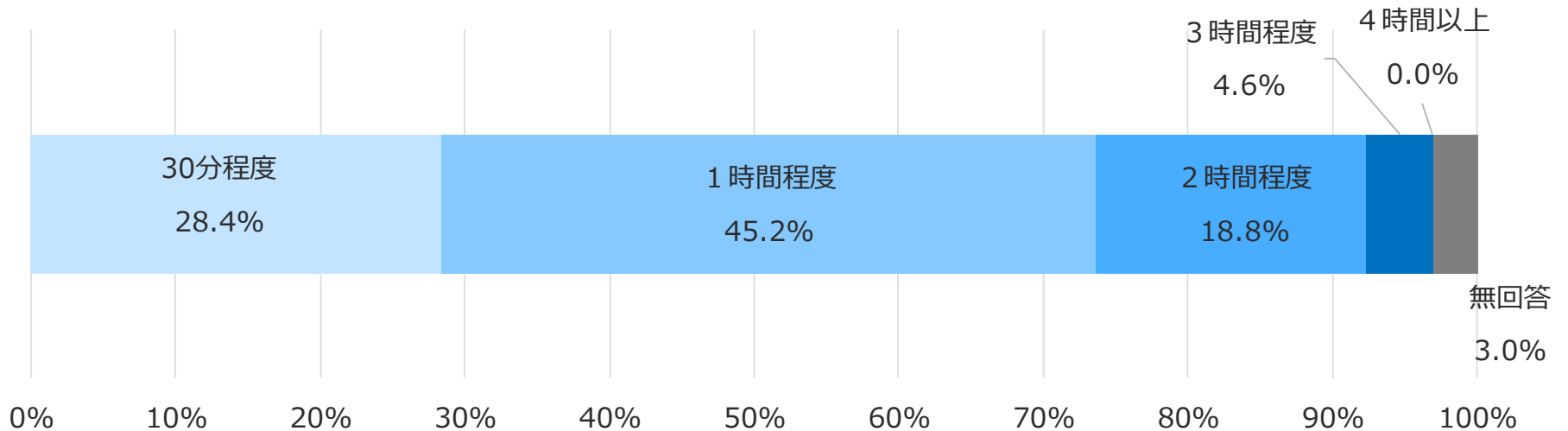
### 3-7. 商業施設等への立ち寄り時における滞在時間

- 市役所付近の商業施設等への立ち寄り時における滞在時間については、「1時間程度」が45.2%と最多。
- 次いで、「30分程度」（28.4%）、「2時間程度」（18.8%）の順に多く、相対的に短い。
- 平均滞在時間（※）は66.3分。

問9

市役所を訪問する際に、市役所訪問前後に、市役所付近の商業施設や飲食店などへ立ち寄る際の1回あたりの滞在時間（複数の施設に立ち寄る場合はその合計時間）の目安を教えてください。（単一回答）

n=197



※30分程度は30分、1時間程度は60分、2時間程度は120分、3時間程度は180分、4時間程度は240分、無回答は0分とみなして算出。

## 4. 市役所を『宮崎中央公園の一部』に移転した場合について

---

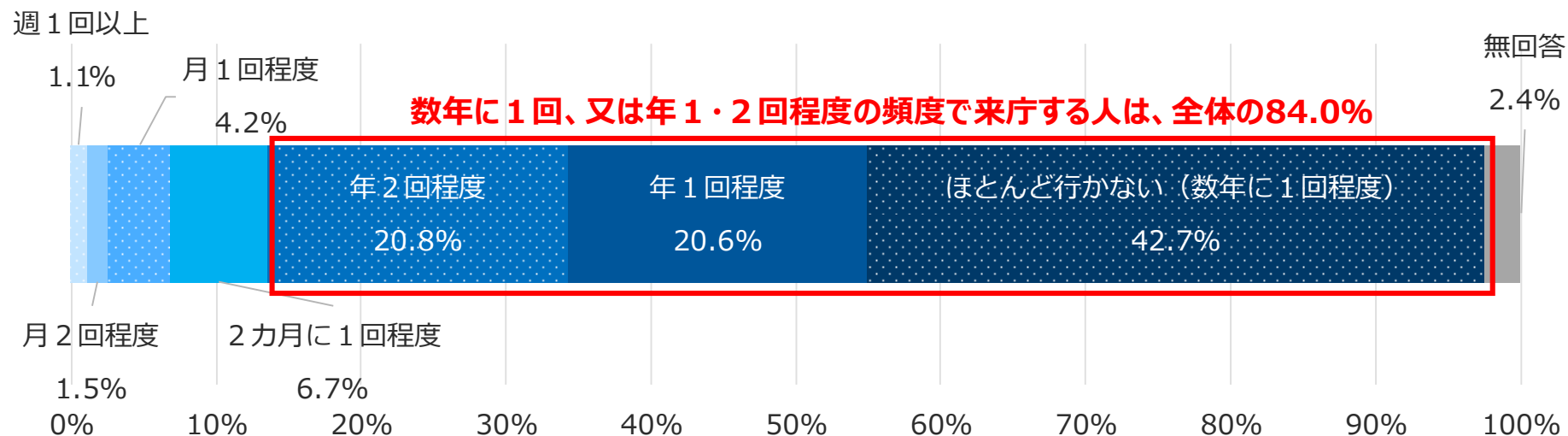
## 4-1. 移転した場合の来庁頻度（1/2）結果の概要

- 宮崎中央公園の一部に移転した場合の来庁頻度については、「ほとんど行かない（数年に1回程度）」が42.7%で最多。
- 数年に1回、又は年1・2回程度の頻度で来庁する人は、全体の84.0%である。

### 問10

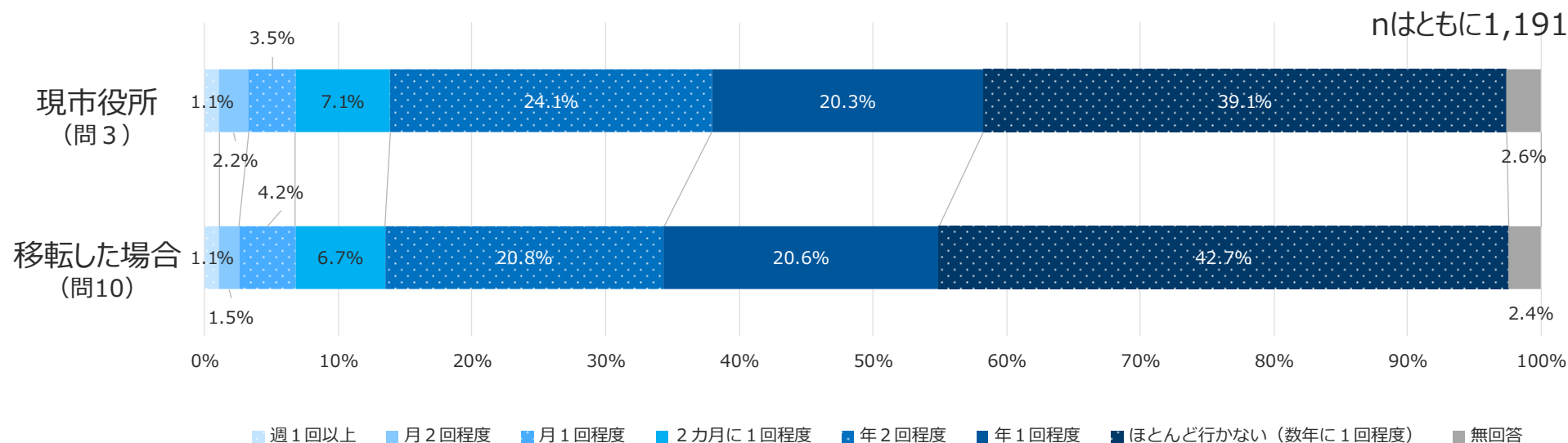
市役所を「宮崎中央公園の一部」に移転した場合、どのくらいの頻度で市役所を訪問するようになると思われますか。（単一回答）

n=1,191



## 4-1. 移転した場合の来庁頻度（2/2） 現市役所との比較

- 現市役所への来庁頻度（問3）と、宮崎中央公園の一部に移転した場合の来庁頻度（問10）を比較すると大差はない。
- よって、全体で見ると、仮に宮崎中央公園の一部に移転する場合、移転することは来庁頻度に影響をほぼ与えないものと考えられる。

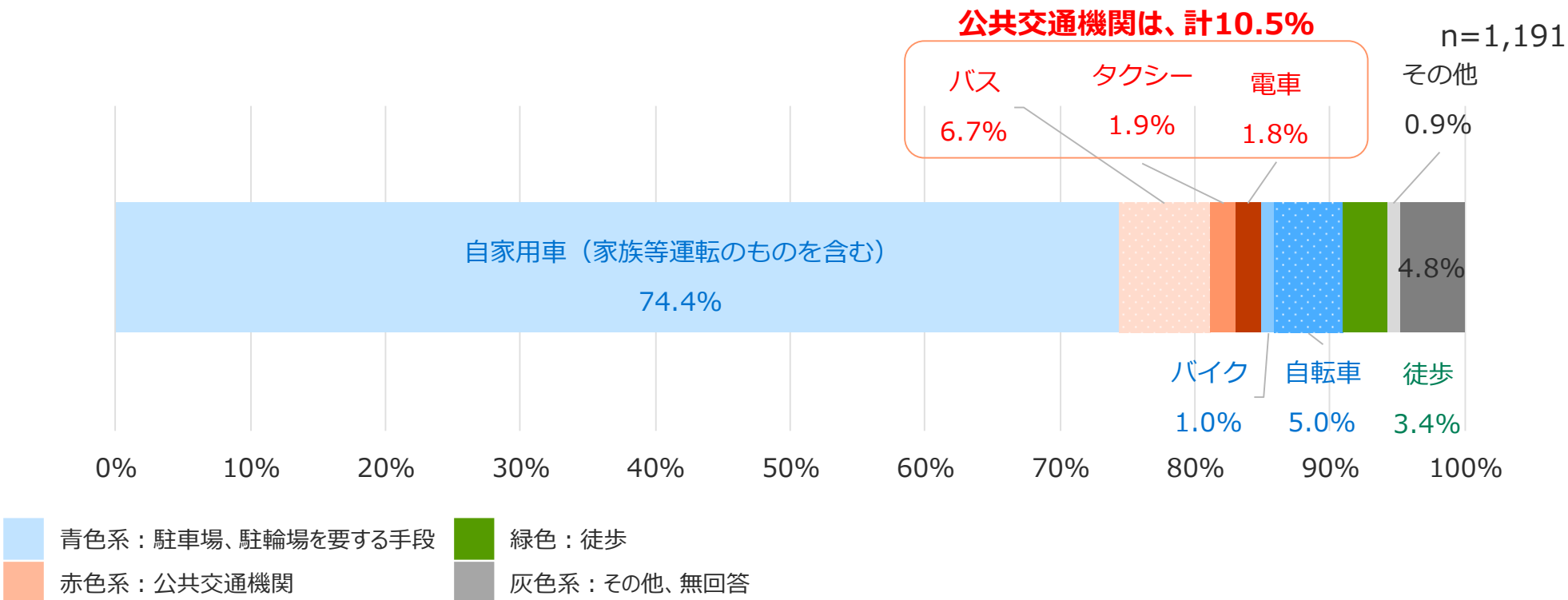


## 4-2. 移転した場合の交通手段（1/2）結果の概要

- 宮崎中央公園の一部に移転した場合の市役所までの交通手段については、自家用車が74.4%と最多。
- バス、タクシー、電車という公共交通機関は、計10.5%である。
- 駐輪場が必要となるバイク、自転車は、計6.0%である。

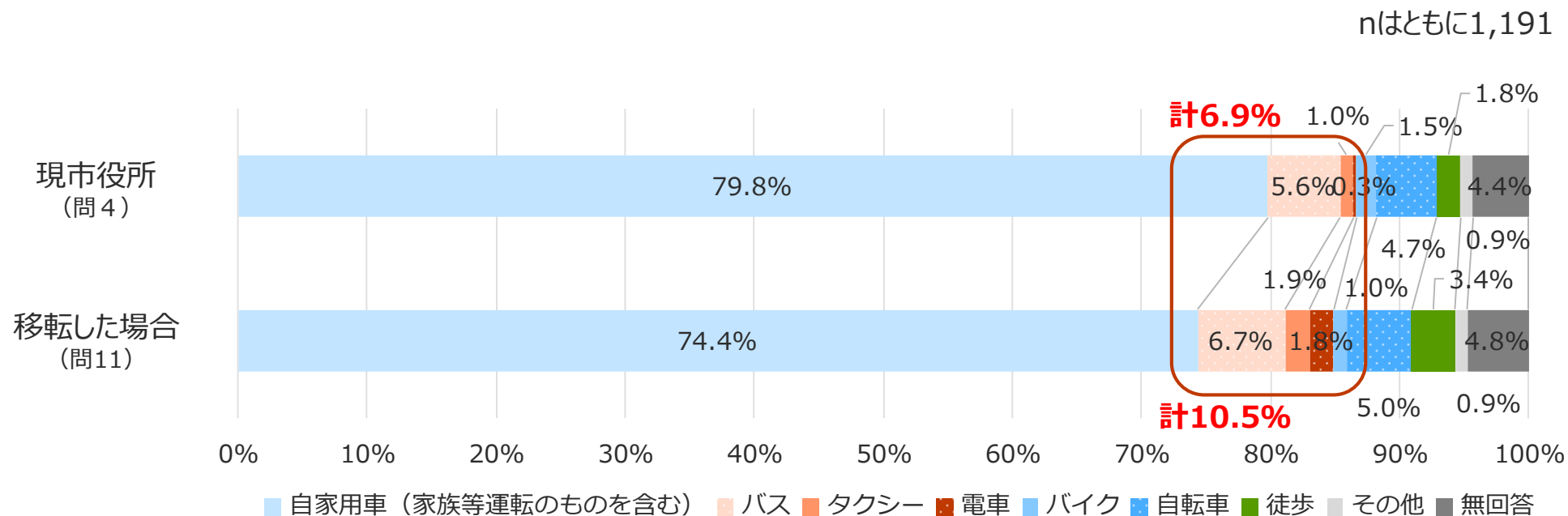
### 問11

市役所を「宮崎中央公園の一部」に移転した場合、市役所を訪問する際の交通手段でよく利用されると考えられるものは何ですか。（単一回答）



## 4-2. 移転した場合の交通手段（2/2） 現市役所との比較

- 現市役所への交通手段（問4）と、宮崎中央公園の一部に移転した場合の交通手段（問11）を比較すると、個々の交通手段には大差はなく、全体でみると、大きな違いはない。
- しかし、3種の公共交通機関がそれぞれ微増しているため、移転することで公共交通機関の利用が促される。

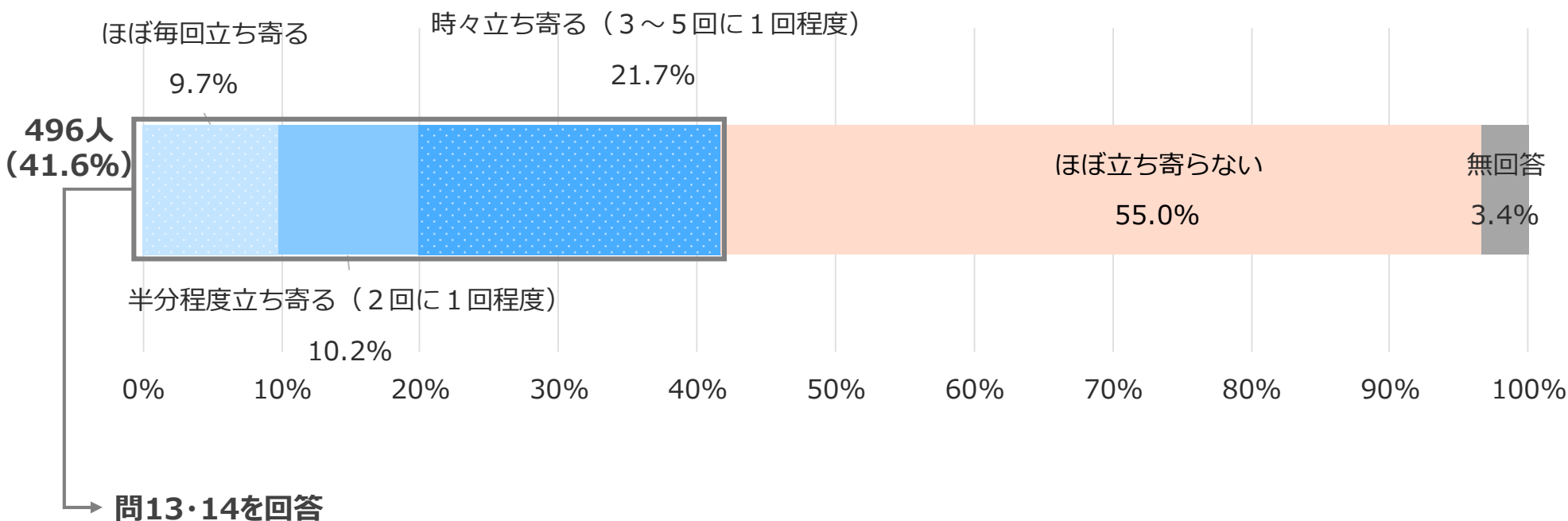


### 4-3. 商業施設等への立ち寄り頻度（1/2）結果概要

- 宮崎中央公園の一部に移転した場合の商業施設等への立ち寄りについては、「ほぼ立ち寄らない」が55.0%と最多。
- ほぼ毎回、半分程度、又は時々立ち寄る人は、計41.6%である。

**問12** 市役所を「宮崎中央公園の一部」に移転した場合、市役所訪問前後に、市役所付近の商業施設や飲食店などへ立ち寄る頻度はどうなると考えられますか。（単一回答）

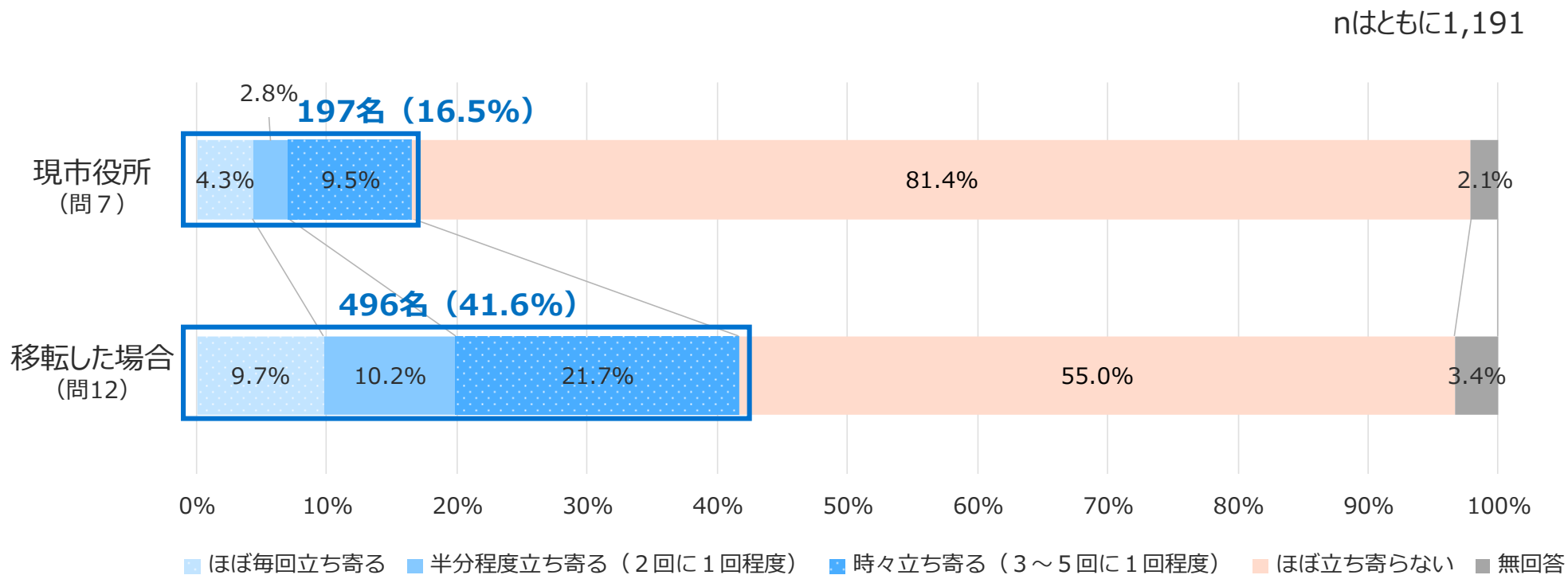
n=1,191





### 4-3. 商業施設等への立ち寄り頻度（2/2） 現市役所との比較

- 現市役所付近の商業施設等への立ち寄り（問7）と、宮崎中央公園の一部に移転した場合の付近の商業施設等への立ち寄り（問12）を比較すると移転によって立ち寄り人数は増えることが予想される。

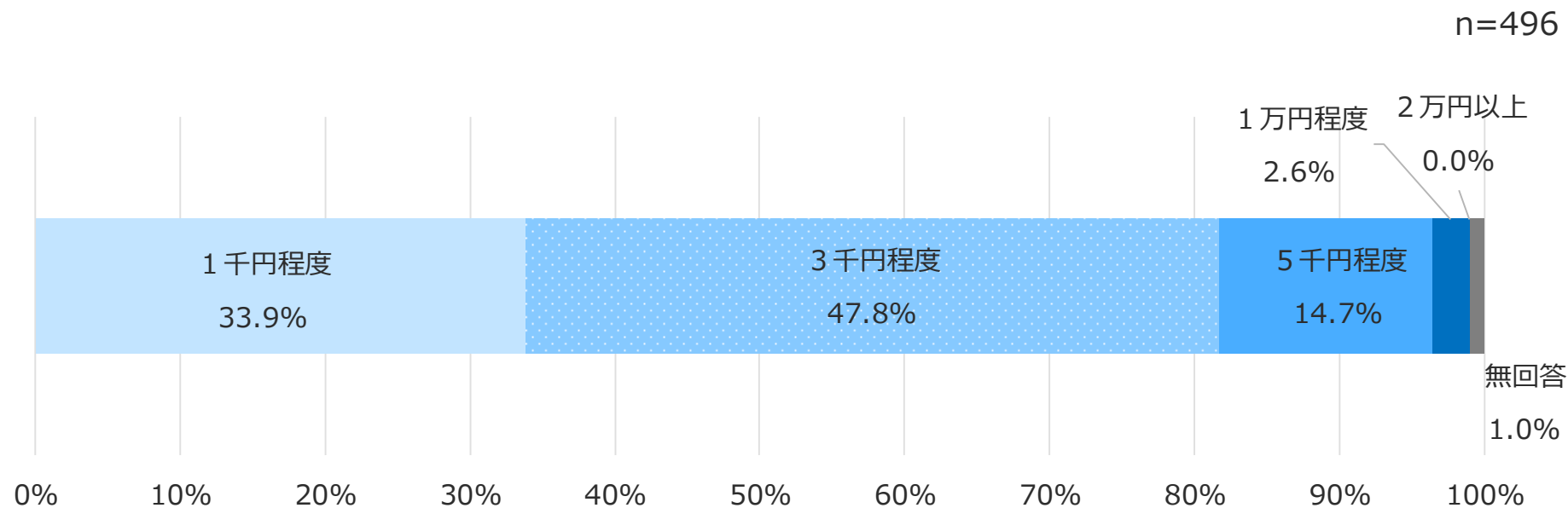


## 4-4. 商業施設等への立ち寄り時における消費金額（1/2）結果の概要

- 宮崎中央公園の一部に移転した場合の商業施設等への立ち寄り時における消費金額については、「3千円程度」が47.8%と最多。
- 次いで、「1千円程度」（33.9%）、「5千円程度」（14.7%）の順に多い。
- 平均消費金額（※）は、2,768円。

### 問13

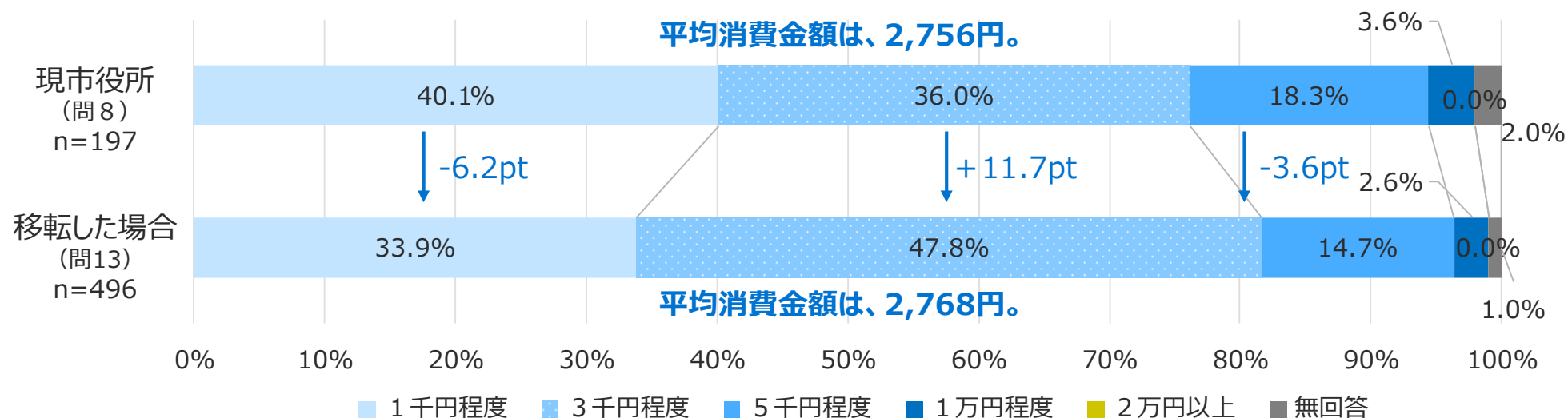
市役所を「宮崎中央公園の一部」に移転した場合、市役所訪問前後に、市役所付近の商業施設や飲食店などへ立ち寄る際の消費金額はどの程度になると考えられますか。（単一回答）



※ 1千円程度は1,000円、3千円程度は3,000円、5千円程度は5,000円、1万円程度は10,000円、2万円以上は20,000円、無回答は0円とみなして算出。

## 4-4. 商業施設等への立ち寄り時における消費金額（2/2） 現市役所との比較

- 現市役所付近の商業施設等への立ち寄り時における消費金額（問8）と、宮崎中央公園の一部に移転した場合の付近の商業施設等への立ち寄り時における消費金額（問13）を比較すると3千円程度消費する人の割合が11.7ポイント増えるが、1千円程度消費する人及び5千円程度消費する人の割合はそれぞれ微減する。平均消費金額はほぼ同等であった。
- よって、移転によって立ち寄る人数は増えることが予想されることと合わせて勘案すると、仮に宮崎中央公園の一部に移転する場合、商業施設等への経済効果が現状よりも高く創出しうる。
- ただし、次の設問の結果のとおり、手続き関連の来庁者数は、行政手続のオンライン化が進展すると、半減するため、その分、商業施設等への立ち寄り人数は減ることに留意が必要。

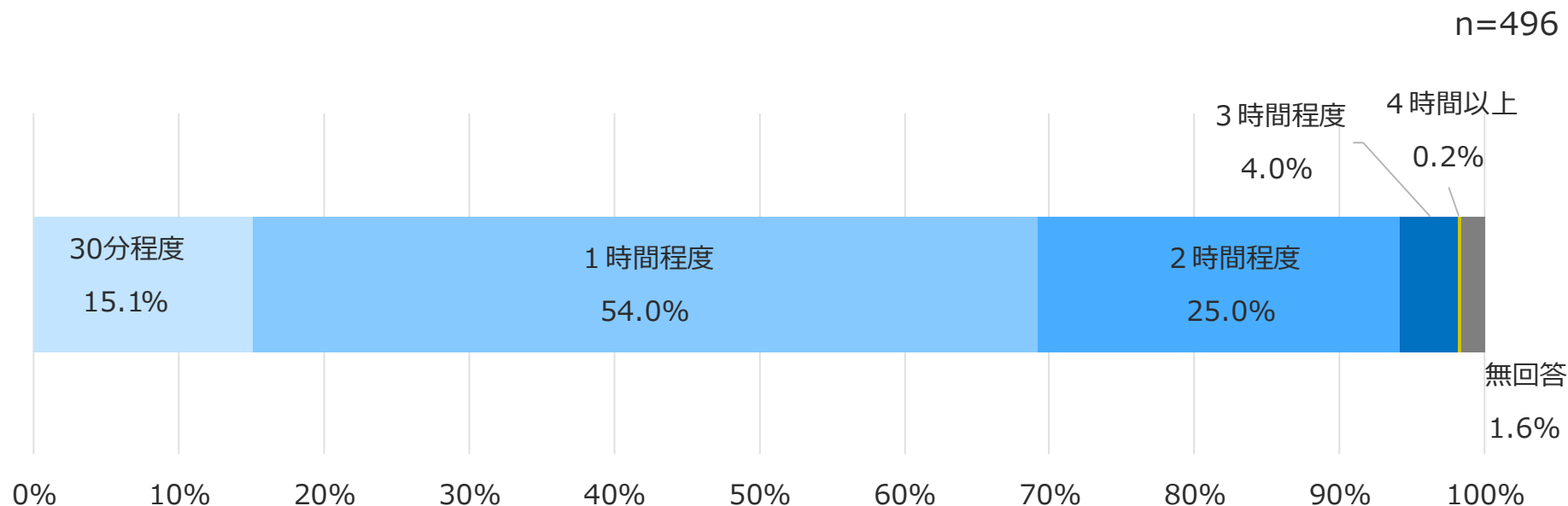


## 4-5. 商業施設等への立ち寄り時における滞在時間（1/2）結果の概要

- 宮崎中央公園の一部に移転した場合の商業施設等への立ち寄り時における滞在時間については、「1時間程度」が54.0%と最多。
- 次いで、「2時間程度」（25.0%）、「30分程度」（15.1%）の順に多い。
- 平均滞在時間（※）は74.7分。

### 問14

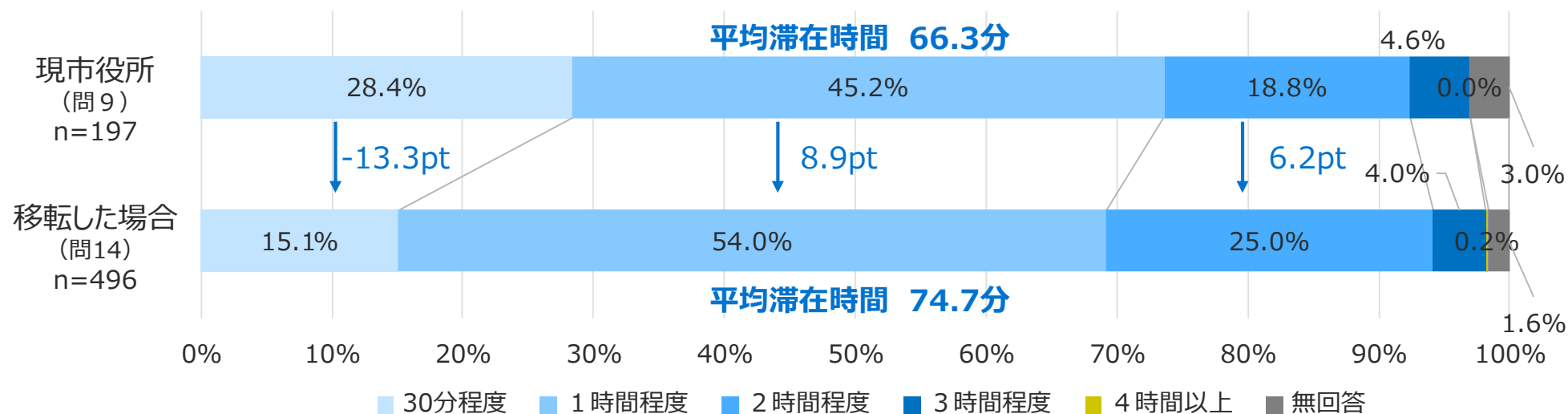
市役所を「宮崎中央公園の一部」に移転した場合、市役所訪問前後に、市役所付近の商業施設や飲食店などへ立ち寄る際の滞在時間（複数の施設に立ち寄る場合はその合計時間）はどの程度になると考えられますか。（単一回答）



※30分程度は30分、1時間程度は60分、2時間程度は120分、3時間程度は180分、4時間程度は240分、無回答は0分とみなして算出。

## 4-5. 商業施設等への立ち寄り時における滞在時間（2/2） 現市役所との比較

- 現市役所付近の商業施設等への立ち寄り時における滞在時間（問9）と、宮崎中央公園の一部に移転した場合の付近の商業施設等への立ち寄り時における滞在時間（問14）を比較すると30分程度滞在する人の割合が13.3ポイント減り、1時間程度滞在する人及び2時間程度滞在する人の割合がそれぞれ8.9ポイント、6.2ポイント増える。
- よって、仮に宮崎中央公園の一部に移転する場合、付近の商業施設等への立ち寄り時における滞在時間は長くなるものと考えられる。



※平均滞在時間については、30分程度は30分、1時間程度は60分、2時間程度は120分、3時間程度は180分、4時間程度は240分、無回答は0分とみなして算出。

## 5. 住民票の発行など行政手続きのオンライン化について

---

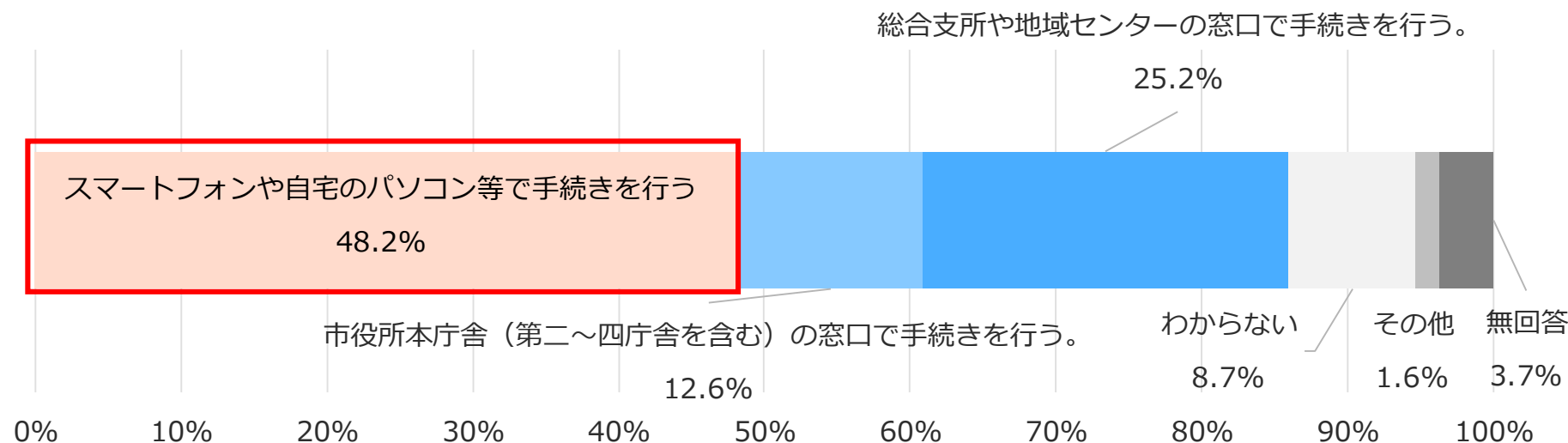
## 5. 行政手続きのオンライン化がさらに進んだ場合の手続き方法（1/3）結果の概要

- 行政手続きのオンライン化が進展すると、来庁せずに手続きを行う者は、48.2%を占める。
- よって、手続き関連の来庁者数は、行政手続のオンライン化が進展すると、半減すると想定される。

問15

今後、デジタル技術の発展により、住民票の発行などの行政手続きがスマートフォンで完結するなど、行政手続きのオンライン化がさらに進んでいくものと考えられます。行政手続きがスマートフォンや自宅のパソコン等で可能となった場合、どのような手続き方法を選択しますか。（単一回答）

n=1,191



## 5. 行政手続きのオンライン化がさらに進んだ場合の手続き方法（2/3）その他の意見

- 行政手続きのオンライン化がさらに進んだ場合の手続き方法についての「その他」の意見は次のとおり整理・分類できる。

分類	回答内容	件数
スマートフォン等のインターネット環境の有無、操作の可否	スマートフォンもパソコンも持ってません	2
	スマートフォンを持っていない。	2
	自分ではできないので無理。スマホもない。	1
	インターネットの環境にないので、どのように対処していいかわかりません。	1
	老人（女）にはスマートフォンの手続きがうまくできない。	1
デジタル技術が苦手な方への配慮	オンライン化はありがたいが、年末調整等入力する手続きはどうしても誰かに聞きながらしないとわかりにくいときがある。高齢者の方やデジタル関係が苦手な方のことも含めずすめていただきたい。	1
	パソコンもスマートフォンもできないので直接行くしかない。家にパソコン無い。パソコンが必ず家にあるものとして何でもそれにたよるのもどうかと思う。無い者のことも考えて。	1
他者の協力を得る	娘達に協力してもらいオンライン化に移行します	1
	自分では出来ないのでヘルパーに頼む	1
その他	ケースバイケース	2
	その時々で変わるので・・・	1
	コンビニ	2
	スーパーのコピー機	1
	スマートフォンパソコン便利化される時代になって羨ましく思っているのですが・・・	1
	ほとんど自分で行けない	1

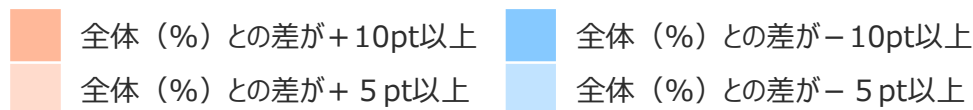


## 5. 行政手続きのオンライン化がさらに進んだ場合の手続き方法（3/3）年代とのクロス

- 行政手続きのオンライン化がさらに進んだ場合の手続き方法について、年代別で整理すると、下表のとおり。
- 20歳未満、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳は、行政手続きのオンライン化が進展すると、来庁せずに手続きを行い、手続きのために本庁舎、総合支所、地域センターの窓口に行く人は少なくなる傾向が予想される。
- 他方で、60～69歳、70～79歳、80歳以上は、行政手続きのオンライン化が進展すると、来庁せずに手続きを行う人は一定数いるが、その割合は全体と比べると限定的であり、全体と比べると、行政手続きのオンライン化が進展しても、手続きのために本庁舎、総合支所、地域センターの窓口に行く人が多い傾向が予想される。

n=1,191

	全体		20歳未満		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上		無回答	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
	1,191	—	18	1.5%	59	5.0%	137	11.5%	192	16.1%	194	16.3%	227	19.1%	249	20.9%	112	9.4%	3	0.3%
スマートフォンや自宅のパソコン等で手続きを行う	574	48.2%	13	72.2%	48	81.4%	112	81.8%	132	68.8%	122	62.9%	81	35.7%	53	21.3%	13	11.6%	0	0.0%
市役所本庁舎（第二～四庁舎を含む）の窓口で手続きを行う。	150	12.6%	1	5.6%	7	11.9%	6	4.4%	14	7.3%	15	7.7%	30	13.2%	55	22.1%	22	19.6%	0	0.0%
総合支所や地域センターの窓口で手続きを行う。	300	25.2%	2	11.1%	1	1.7%	9	6.6%	24	12.5%	34	17.5%	81	35.7%	106	42.6%	42	37.5%	1	33.3%
わからない	104	8.7%	2	11.1%	3	5.1%	7	5.1%	17	8.9%	14	7.2%	26	11.5%	17	6.8%	18	16.1%	0	0.0%
その他	19	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.2%	2	1.0%	3	1.5%	4	1.8%	1	0.4%	6	5.4%	0	0.0%
無回答	44	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.6%	6	3.1%	5	2.2%	17	6.8%	11	9.8%	2	66.7%



## 6. 新庁舎建設の重要な視点について

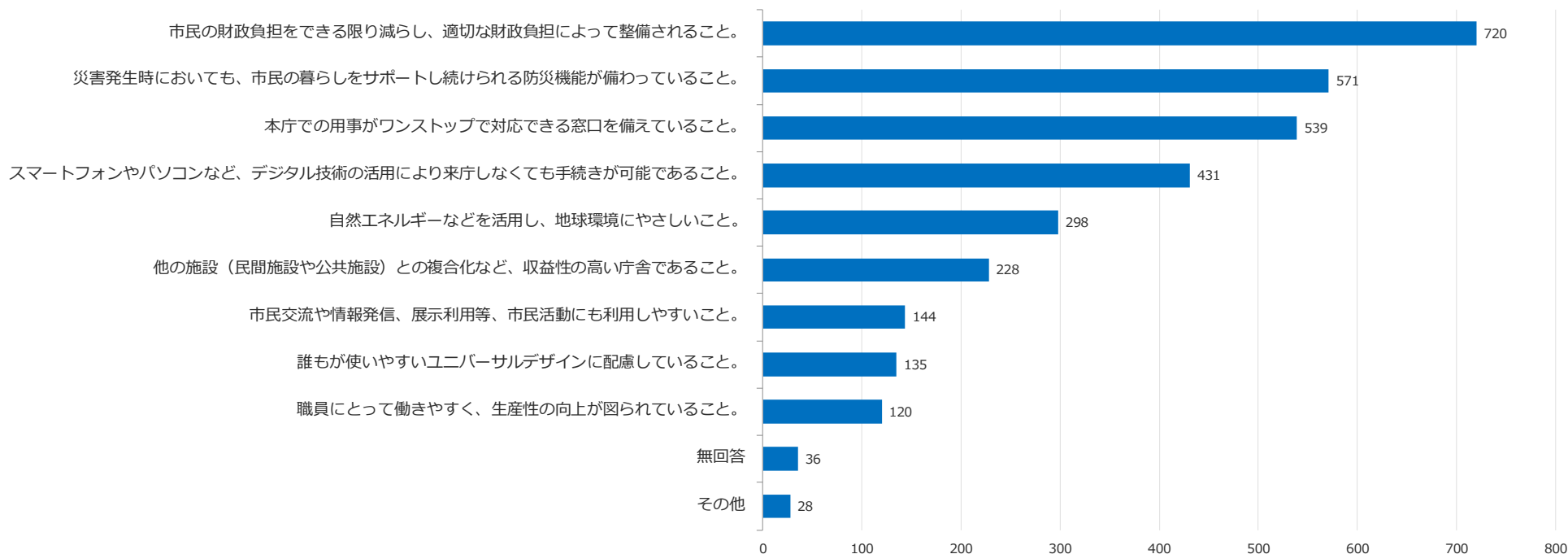
---

## 6. 新庁舎建設の重要な視点（1/3）結果の概要

- 新庁舎建設の重要な視点については、「市民の財政負担をできる限り減らし、適切な財政負担によって整備されること」が720件で最多。
- 次いで、災害発生時においても、市民の暮らしをサポートし続けられる防災機能が備わっていること」（571件）、「本庁での用事がワンストップで対応できる窓口を備えていること。」（539件）の順に多い。
- コスト・防災・利便性が重視されている。

### 問16 新庁舎建設の重要な視点を教えてください。（最大3つまで）

n=1,191



1,191名から無回答を除いた1,155名より、計3,214件の回答があった。

## 6. 新庁舎建設の重要な視点（2/3）その他の意見

- ・ 新庁舎建設の重要な視点についての「その他」の意見は次のとおり整理・分類できる。
- ・ 駐車場の利便性向上、周辺道路の渋滞解消を望む声が自由意見として計13件あった。

分類	回答内容	件数
駐車場・ 渋滞等の 交通関連	広い駐車場	2
	IT化が進んでも車等で行く人もいるので交通の便、駐車スペースも必要。	1
	車が止めやすいこと	1
	警備員を雇わなくても、広くとめやすい駐車場にすること。	1
	駐車場が広く無料で止められる事	1
	駐車場が不便にならないこと	1
	駐車場台数の確保	1
	駐車スペースが広く、入りやすい、周辺の道路も混んでいない	1
	やはり駐車場について一番考えてほしい。無断駐車する方もいると思うので、もし中央公園の一部に建設となるなら有料駐車場にしておくほうがいいと思う。あと混雑しないような作りにならないかなと思う。	1
	十分な駐車場が確保されていること	1
	駐車場、渋滞の問題	1
周辺道路の渋滞について配慮があること	1	

分類	回答内容	件数
その他	お悔み課など、手続きが一度に終わるようにしてほしい。	1
	9番と同じなのかもしれませんが、一部を民間に提供して、お金を生みだす市役所になってほしい。現在の市役所は、駐車場を確保できていると思うけど、移転予定先では、立体駐車場にしないと、お金がもの凄くかかると思う。とどこかの市長のように、市長個人の為だけの設備などは、作らないように、周りの人たちも目を光らせてほしい。	1
	最近（5月）別館に行くことがありまして、杖をついている私に「大丈夫ですか、どちらに。私がお案内いたします」（男性の方・40代くらい）といわれて事務の方に手続きとおられ、本当にありがとうございました。	1
	財政で資金の無駄なので反対！！！！	1
	市役所に用事がなくても、いこいの広場があっただれでも行ける空間があると良い。	1
	障害者に優しい作りであって欲しいです（足が不自由）	1
	デザインにコストをかけない。県病院みたいな複雑なデザインで高コストになっている。	1
	デジタル化しすぎて使えない人には不便である。使えない人には、今まで通りの手紙（文書等）で対応してもらいたい。	1
	宮崎市の象徴的外観	1
	宮崎は車がないと生活できない地域 わざわざ津波や朝夕混む場所に移転するメリットを感じない 車で移動するなら市郊外でも良いのではないかとまとまった市有地なら郊外に確保できる 今回候補地ありきアンケートの必要性に疑問を感じる	1

## 6. 新庁舎建設の重要な視点（3/3）年代とのクロス

- 新庁舎建設の重要な視点について、年代別で整理すると、下表のとおり。
- 若い人ほど、「来庁しなくても手続きが可能」、「ユニバーサルデザイン」、「職員の生産性の向上」を重視する傾向にあり、「適切な財政負担」「ワンストップ窓口」「防災機能」への意識は全体又は高齢者と比べると相対的に低い。
- 高齢者は、「ワンストップ窓口」「防災機能」を重視する傾向にあるが、「来庁しなくても手続きが可能」への意識は、全体又は若い人と比べると低い。
- ただし、上記はあくまでも年代別の値と、全体との差に着目した相対的な結果であり、選択肢間の高低ではないことに留意が必要（例えば若い人も「適切な財政負担」は重視しており、その割合は「職員の生産性の向上」よりも高い）。

n=1,154

	全体		20歳未満		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
	1,154	—	18	1.6%	59	5.1%	135	11.7%	190	16.5%	193	16.7%	221	19.2%	234	20.3%	104	9.0%
自然エネルギーなどを活用し、地球環境にやさしいこと。	297	25.7%	5	27.8%	8	13.6%	24	17.8%	39	20.5%	55	28.5%	66	29.9%	71	30.3%	29	27.9%
市民の財政負担をできる限り減らし、適切な財政負担によって整備されること。	720	62.4%	8	44.4%	30	50.8%	71	52.6%	125	65.8%	115	59.6%	144	65.2%	159	67.9%	68	65.4%
スマートフォンやパソコンなど、デジタル技術の活用により来庁しなくても手続きが可能であること。	431	37.3%	8	44.4%	38	64.4%	85	63.0%	101	53.2%	82	42.5%	57	25.8%	48	20.5%	12	11.5%
本庁での用事がワンストップで対応できる窓口を備えていること。	538	46.6%	7	38.9%	14	23.7%	53	39.3%	91	47.9%	85	44.0%	118	53.4%	125	53.4%	45	43.3%
災害発生時においても、市民の暮らしをサポートし続けられる防災機能が備わっていること。	570	49.4%	4	22.2%	22	37.3%	52	38.5%	83	43.7%	96	49.7%	123	55.7%	134	57.3%	56	53.8%
誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮していること。	135	11.7%	7	38.9%	13	22.0%	27	20.0%	19	10.0%	20	10.4%	22	10.0%	19	8.1%	8	7.7%
市民交流や情報発信、展示利用等、市民活動にも利用しやすいこと。	144	12.5%	0	0.0%	7	11.9%	8	5.9%	24	12.6%	22	11.4%	27	12.2%	38	16.2%	18	17.3%
職員にとって働きやすく、生産性の向上が図られていること。	120	10.4%	4	22.2%	14	23.7%	16	11.9%	14	7.4%	15	7.8%	16	7.2%	27	11.5%	14	13.5%
他の施設（民間施設や公共施設）との複合化など、収益性の高い庁舎であること。	228	19.8%	3	16.7%	7	11.9%	31	23.0%	42	22.1%	38	19.7%	41	18.6%	42	17.9%	24	23.1%
その他	28	2.4%	0	0.0%	1	1.7%	4	3.0%	4	2.1%	6	3.1%	6	2.7%	3	1.3%	4	3.8%

全体（%）との差が+10pt以上

全体（%）との差が+5pt以上

全体（%）との差が-10pt以上

全体（%）との差が-5pt以上

## 7. まとめ

---

## 7. まとめ (1/3) 来庁者数

- 証明書等を自宅郵送やコンビニ等で取得できるようにしたり、手続き・相談をオンライン化したりして、来庁しなくても便利にサービスを受けられるような仕組みを導入・推進すれば、来庁者数は大幅に減ると想定される。
- 特に、手続きのオンライン化を推進することで、20～49歳の来庁人数が減り、手続き関連の来庁者数は半減すると想定される。
- 他方で、相談のために来庁している人は高齢者が中心であり、高齢者は、行政手続きのオンライン化が進展しても、窓口に行く人が多い、という傾向に鑑みると、相談のオンライン化は、手続きのオンライン化と比べると、来庁者数にはあまり影響しないことが想定される。

### アンケート結果

#### 現在の 来庁目的 (問1×問6)

- 証明書などの取得のために来庁する人が845人と最多。次いで、手続き(412人)、相談(285人)の順に多い。
- 20～29歳、30～39歳、40～49歳は、手続きのために訪問している傾向。
- 50～59歳、70～79歳、80歳以上は、相談のために訪問している傾向。

#### オンライン化が さらに進んだ場合 の手続き方法 (問1×問15)

- 行政手続きのオンライン化が進展すると、来庁せずに手続きを行う者は、48.2%を占める。
- 20歳未満～59歳は、行政手続きのオンライン化が進展すると、来庁せずに手続きを行い、手続きのために窓口に行く人は少なくなる傾向。
- 他方で、60～80歳以上は、行政手続きのオンライン化が進展しても、手続きのために窓口に行く人が多い傾向。

### 得られた示唆

- ✓ 証明書等を自宅郵送やコンビニ等で取得できるようにしたり、手続き・相談をオンライン化したりして、来庁しなくても便利にサービスを受けられるような仕組みを導入・推進すれば、来庁人数は大幅に減ると想定される。
- ✓ 特に、手続きのオンライン化を推進することで、20～49歳の来庁人数が減り、手続き関連の来庁者数は半減すると想定される。
- ✓ 他方で、相談のために来庁している人は高齢者が中心であり、高齢者は、行政手続きのオンライン化が進展しても、窓口に行く人が多いという傾向に鑑みると、相談のオンライン化は、手続きのオンライン化と比べると、来庁者数にはあまり影響しないことが想定される。

## 7. まとめ (2/3) 移転時の経済効果

- 仮に宮崎中央公園の一部に移転しても、来庁頻度には影響をほぼ与えないと考えられる。
- 交通手段については、移転することで公共交通機関の利用が促される。また、商業施設等への立ち寄りについては、頻度が増えるとともに、滞在時間が長くなるため、現市役所よりも高い経済効果が見込める。
- ただし、前頁のとおり、行政手続等のオンライン化が進展すると、来庁者数は減るため、その分、商業施設等への立ち寄り人数も減ることに留意が必要。

### アンケート結果

#### 現市役所

#### 宮崎中央公園の一部に移転した場合

#### 来庁頻度 (問3×問10)

✓ 数年に1回、又は年1・2回程度の頻度で来庁する人は、全体の83.5%である。

✓ 数年に1回、又は年1・2回程度の頻度で来庁する人は、全体の84.0%である。

#### 交通手段 (問4×問11)

✓ 公共交通機関は、計**6.9%**。

✓ 公共交通機関は、計**10.5%**。

#### 商業施設等への立ち寄り

#### 頻度 (問7×問12)

✓ ほぼ毎回、半分程度、又は時々立ち寄る人は、計**16.5%**。

✓ ほぼ毎回、半分程度、又は時々立ち寄る人は、計**41.6%**。

#### 消費金額 (問8×問13)

✓ 平均消費金額は、2,756円。

✓ 平均消費金額は、2,768円。

#### 滞在時間 (問9×問13)

✓ 平均滞在時間は、**66.3分**。

✓ 平均滞在時間は、**74.7分**。

### 得られた示唆

- 来庁頻度については、移転しても、影響をほぼ与えないと考えられる。
- 交通手段については、移転することで公共交通機関の利用が促される。
- 商業施設等への経済的な効果については、現市役所は、来庁頻度と立ち寄り頻度、消費金額、滞在時間を勘案すると、低いと想定される。
- 他方で、移転する場合は、立ち寄り頻度が増えるとともに、滞在時間が長くなるため、現市役所よりも高い経済効果が見込める。
- ただし、前頁のとおり、行政手続等のオンライン化が進展すると、来庁者数は減るため、その分、商業施設等への立ち寄り人数も減ることに留意が必要。



## 7. まとめ (3/3) その他

- ・ 移転する場合は、現状もしくは現状以上の駐車場の台数を確保することが望ましい。
- ・ ただし、行政手続等のオンライン化が進展すると、来庁者数は減ることを踏まえて台数を設定する必要がある。
- ・ 本庁舎が約10年後に開庁し、その後数十年間かけて使用していくことを踏まえて、若い人の意見を重視する場合は、コスト・防災・利便性のみならず、以下3点も重視することが望ましい。
  - － 「来庁しなくても手続きが可能」「ユニバーサルデザイン」「職員の生産性の向上」

### アンケート結果

#### 駐車場の 収容台数 (問5、11、16)

- ・ 駐車場の収容台数について「十分」又は「おおむね十分」と回答した人は70.0%であり、基本的に十分あると考えられる。
- ・ 他方で、「ときどき不足」又は「不足」と回答した人は22.0%であり、時間帯によっては不足していると考えられる。
- ・ 交通手段については、移転した場合も、自家用車が74.4%と最多。
- ・ 駐車場の利便性向上、周辺道路の渋滞解消を望む声が自由意見として計13件あった。

### 得られた示唆

- ✓ 移転する場合は、現状もしくは現状以上の駐車場の台数を確保することが望ましい。
- ✓ ただし、行政手続等のオンライン化が進展すると、来庁者数は減ることを踏まえて台数を設定する必要がある。

#### 重要な視点 (問1×問16)

- ・ 全体としては、コスト・防災・利便性が重視されている。
- ・ 若い人ほど、「来庁しなくても手続きが可能」、「ユニバーサルデザイン」、「職員の生産性の向上」を重視する傾向にある。

- ✓ 本庁舎が約10年後に開庁し、その後数十年間かけて使用していくことを踏まえて、若い人の意見を重視する場合は、コスト・防災・利便性のみならず、以下3点も重視することが望ましい。
  - 「来庁しなくても手続きが可能」
  - 「ユニバーサルデザイン」
  - 「職員の生産性の向上」